



未は偉大な発明家

南国市少年少女発明クラブの六年度公開発明工作教室開講式が、科学技術週間中の4月23日、大徳小で行われました。

この教室はこどもたちに科学的好奇心を持って、工夫改良の筋道や方法を身につけてもらおうと、10年ほど前から行われているもので、今年の受講生は37人。毎月1回、第2土曜日に開講します。

開講式の後、付き添いの保護者も参加して、メモ立て作りにチャレンジ。慣れない手つきだった受講生たちでしたが、熱心に作業に取り組んでいました。

ふれあいのお弁当

久礼田地区給食サービスマン推進委員会が、四月二十日より、地居老人への月一回の給食サービスを開始しました。

これは、市のふれあいのまちづくり事業の一環として地区社会福祉協議会などの呼びかけで行われたもので、現在、稲生、三和、大塚など七地区で実施されています。給食には小学生の手紙や保育園児の折り鶴などが添えられ、受け取った二十二人のお年寄りたちは、「ありがたいことです」と感謝していました。



清流を後世に伝えて

今、自分たちの身近なところから環境問題に取り組んでいこうという運動が高まりを見せています。一人ひとりがこのような考えをもち行動していくことが、地球を次の世代に譲りつなげるのではないのでしょうか。昭和六十三年に結成され、国分川の美化に取り組んでいる「国分川をきれいにする会」は、このたび、広く市民より国分川美化の標語を募集し、カンパンを作成しました。標語は「清流を後世に伝えて」と願うものばかりです。



▲5月15日、市民体育館相撲場で、大徳祭わんぱく相撲大会が開かれ市内から7チーム30人が参加。あいにくの雨にもかかわらず、土俵の上では熱い戦いが繰り広げられていました。

四月二十五日、米消費拡大事業の一環として、国府小学校の児童が田植えをしました。ふたんできない体験に子供たちは大喜び、泥水の冷たい感触を味わいながらの楽しいひとときを過ごしました。



▲5月9日、市民学校が開校(28日まで)。初日のこの日は、高知かっぱう学校の高橋光さんを講師に迎え「いま、毎日何を食べていますか」と題した講演がありました。

四月十九日、第三セクターの「株式会社南国オフィスパークセンター」の創立総会が開かれました。会では大町市長の社長就任などが決定。また、今年度事業としてPR活動や企業誘致活動を進める予定です。



四月二十二日、日本赤十字高知県支部が、日赤前浜分区分にタンカや救急箱など、国府分区分に救護用テントを配置しました。これは、地域の赤十字活動を推進するため、日赤高知県支部が平成四年度より各分区分に活動資機材を配置するという趣旨で行われている活動の一環です。

宮城県岩沼市との姉妹都市提携を機に、郵便局でも姉妹局として交流しようと、岩沼郵便局と南国郵便局の「親善友好姉妹局」提携の調印式が、4月15日に行われました。

今後両局は、ふるさと小包みのあわせみや、写真展などを催して交流する予定です。



▲五月三日、南国市開港クラブで四十人が参加して、市民開港大会が行われました。優勝者は次の通り。
市長杯 橋田正夫(藤原)
選手杯 松村勉(明見)
教員長杯 浜口勲(南野)



▲4月21日、通区記念日を祝い、大町市長が南国郵便局で1日局長を勤めました。写真は、郵便ポストの清掃をするひまわり幼稚園の子供たちに声をかける大町市長。

五月十五日、市民体育館を会場に市長杯・議長杯バレーボール大会が行われました。参加した十五チームは、日ごろの練習の成果を身せようと、熱戦を繰り広げました。



昨年八月に落成式があった、高知カシオの第二棟二層の初回は前記念セレモニーが、五月十日にありました。テープカットのあと、TPTT渡島ディスプレイ八千枚が東京に向けて、出荷されました。

